

# 学校だより ミモザ 特別号

令和4年1月28日  
熱海市立桃山小学校  
校長 内藤 弘美  
担当 佐藤 正和

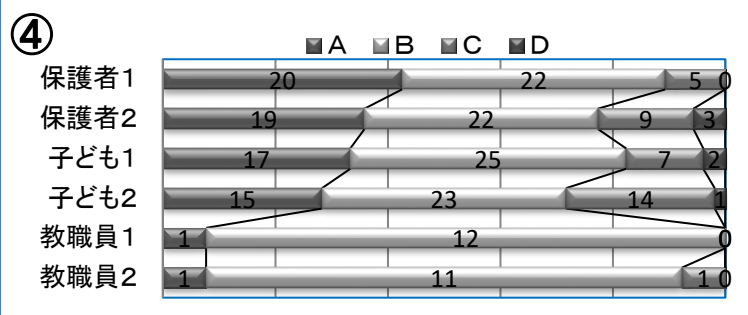
☆過日ご協力いただいた学校診断評価のまとめについて、ご報告いたします。

## 令和3年度 学校診断評価（後期）まとめ

☆A→よい・ある・そのとおり B→どちらかというよい・どちらかというと思う C→どちらかという悪い・どちらかというと思わない D→悪い・ない・思わない  
☆前期を1、後期を2として、それぞれの変容を比較できるようにしました。  
☆それぞれの結果をもとに、「A」「B」と「C」「D」の境界に着目して考えてみました。おおむね80%を目安に、よい評価・成果と考えられるものを○、課題や問題点と思われるものを●としました。「→」以下には、今後の対応や具体的な手立てについて記しました。

### 重点教育① キャリア教育について

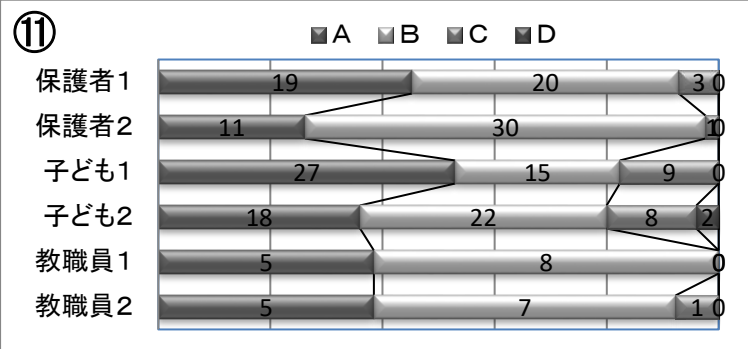
④お子さん(あなた)は、学習内容が定着している。



●子ども、保護者ともに後期評価の数値が下がっている。

→日々の授業や家庭学習の見取りを一層ていねいに行うとともに、校内研修の充実を図っていく。学習した内容が理解できているか振り返りの時間を大切にしたり、基礎的な内容は繰り返し学習を積み重ねるなど、学習の定着に向けた方策を学校を挙げて取り組んでいく。

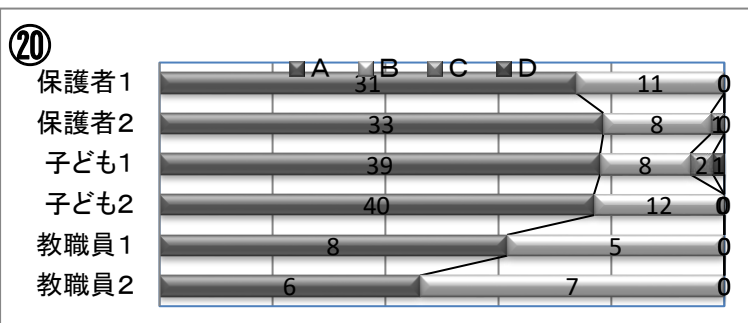
⑪桃山小は、学力向上のための努力や工夫をしている。(子ども→自分の力ややりたいことにあった学習を…。)



○年間を通してよい評価が得られたが、子どものCD評価を改善したい。

→おおむねよいと評価できるが、上記④の学習内容の定着につながるよう、知識や技能の習得とともに、考える力・伝え合う力を身に付け、学んだことを実感できる、学びを楽しみ感じる授業づくりに引き続き取り組んでいく。

⑳桃山小のキャリア教育(夢学校・夢先生)は有意義だと思いますか。(子ども→ためになった。)

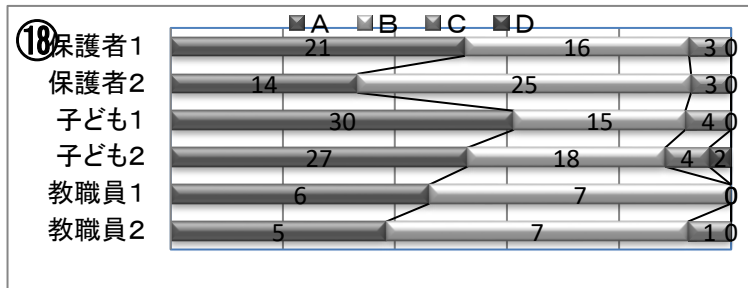


○年間を通して高い評価が得られた。保護者や地域の皆様のお力添えもあって、成果が得られている。

→継続。本校の特色ある教育活動の一つでもあり、今後も活動のねらいや子どもたちに付けたい力を意識して取り組んでいく。

### 重点教育② 健康安全教育について

⑱桃山小のすこやかタイムは、子ども一人ひとりの体力や健康に配慮して、安心安全な中で体づくりが行われている。(子ども→がんばっている。)

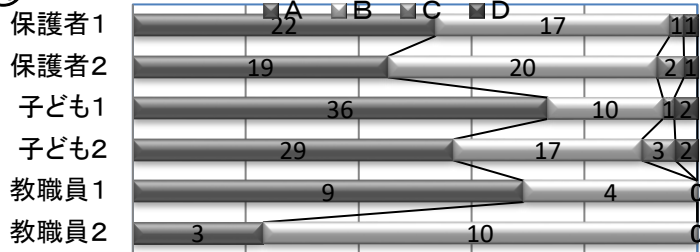


○年間を通して高い評価を得られた。

→継続。今後も朝運動だけでなく、体育の授業においても、運動の量や質、内容について、児童の実態に即した活動を展開していく。安心安全な中で体づくりを行っていく。

⑨ 桃山小の保健指導や給食指導は適切である。(子ども→ためになった。)

⑬



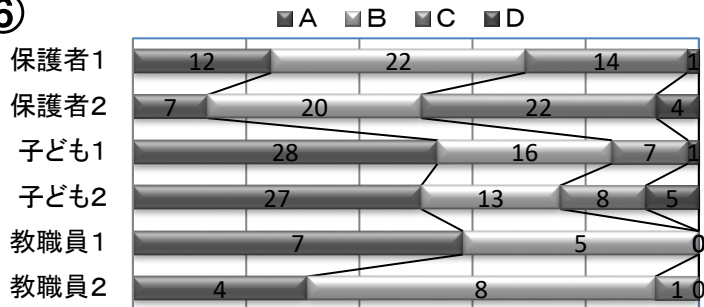
○年間を通して高い評価を得られた。

→継続。安心安全な学校生活を送れるよう、今後も子どもの実態に合わせて柔軟な指導を心がけていく。

### 重点教育③ 読書教育について

⑥ お子さん(あなた)は読書をよくする。

⑥



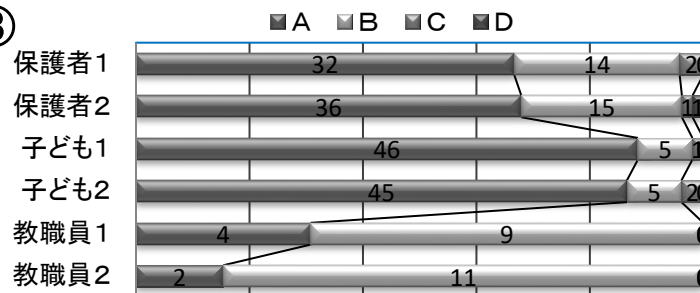
●保護者子どもともに後期の評価数値が低くなっている。

→感染症の影響もあり、今年度もブックトークキングクラブの活動は実現に至らなかった。読書の時間の確保と同様、読み聞かせの大切さをあらためて感じた。木曜日の家庭読書の日、ブックバスの有効活用など、本に触れる機会を大切にし、学校でも、家庭でも読書活動を充実させていく。

### 重点教育④ 道徳教育について

③ お子さん(あなた)は友達と仲良く遊んでいる。

③

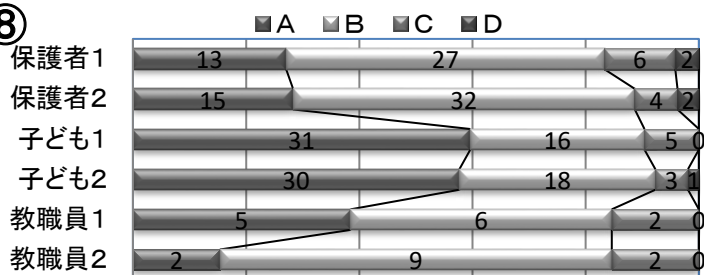


○年間を通して高い評価が得られた。

→継続。すべての教育活動において道徳教育を心がけながら、よりよい自分づくり、人間関係づくりの力の涵養に努めていく。

⑧ お子さん(あなた)は家や地域であいさつをしている。

⑧

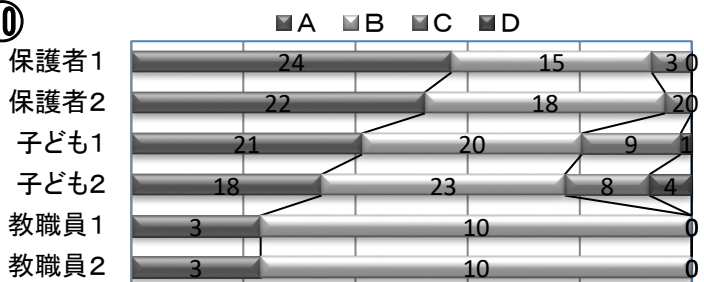


○よい評価が8割を超えてはいるが、C評価も見られる。

→継続。AB評価の数値は高いが、自信をもって「あいさつできる」といえるA評価の割合を高めていきたい。今後もおもてなしの心で、時と場に応じた実践的なあいさつができるよう、指導を重ねていく。

⑩ 桃山小の子どもは、思いやりの心が育っている。

⑩

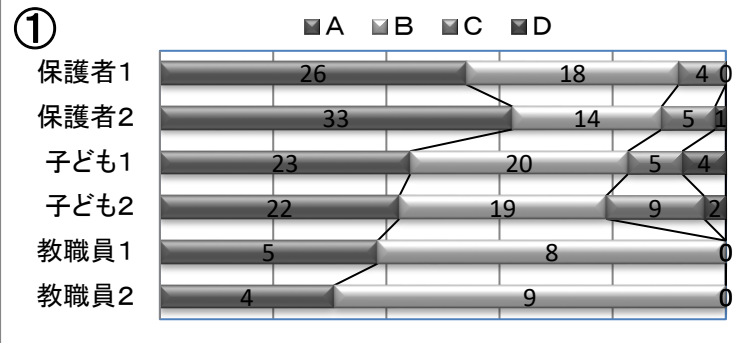


○昨年度同様、年間を通してよい評価が得られた。本校の重点目標の一つでもあり、これまでの積み重ねの成果であると考えます。

→全体での指導を継続しつつ、個別の対応を丁寧に行っていく。

## その他の項目について

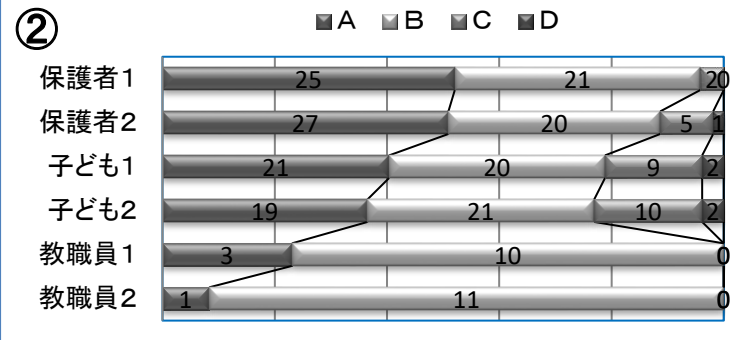
①お子さん(あなた)は学校へ行くのを楽しみにしている。



△年間を通して高い評価が得られたが、CD評価もみられる。

→個の見取りを大切にし、学習や行事などの取り組みにおいて、達成感や成就感を実感できるように、日々の子どもの心に丁寧に寄り添っていく。

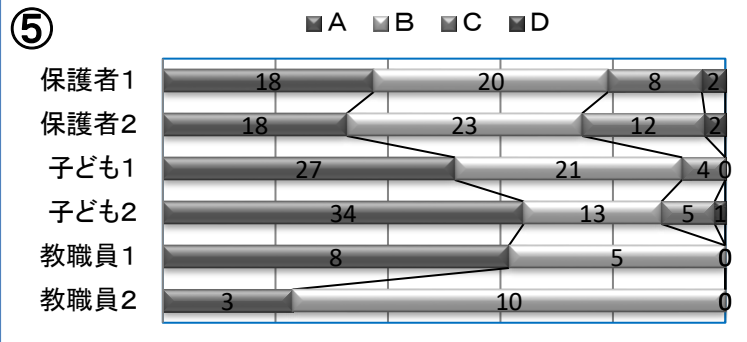
②お子さん(あなた)は学校や友達の話をよくする。



○年間を通してよい評価が得られた。

→継続。今後も学校からの情報発信による話題提供を行う。家庭との連絡を密にして情報交換をしていく。

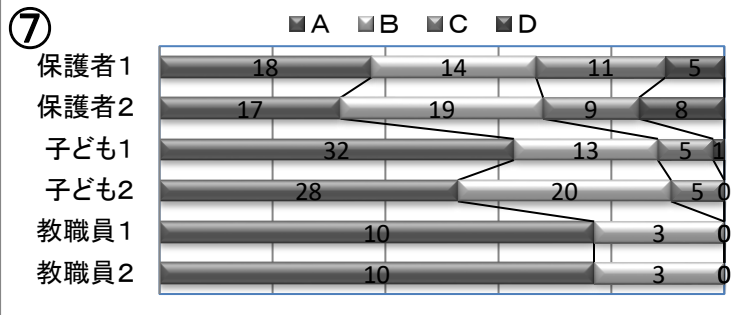
⑤お子さん(あなた)は宿題や家庭学習に進んで取り組んでいる。



△保護者、子どもともにCD評価が一定数見られる。

→課題の内容や量など、習慣化を図りつつ、時期に応じて内容を柔軟に変えていくようにする。家庭と連携を取り、協力しながら進められるよう、個に応じた指導も続けていく。

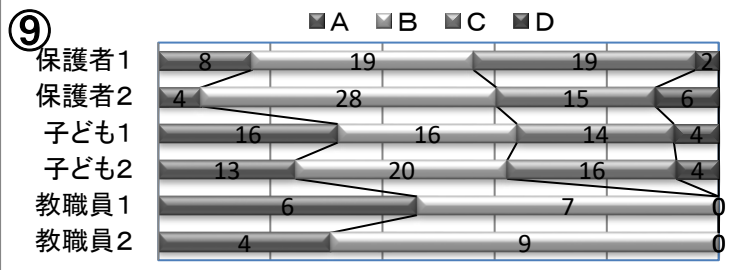
⑦お子さん(あなた)はよく運動(外遊び)をする。



●保護者のAB評価が7割前後となっている。

→日常の運動量や経験については個人差や環境の違いが大きく影響するので一概には言えないが、「体を動かすことの楽しさ」を味わえるような指導を、体育やすこやかタイム、休み時間などとおして、積み重ねていきたい。

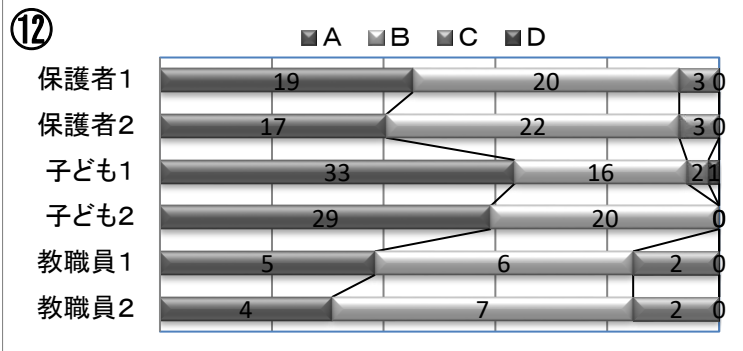
⑨お子さん(あなた)は家でお手伝いを進んでおこなっている。



●例年低い傾向にある項目だが、今年度も6割程度である。

→夏休みや冬休み前にお手伝いをする指導をしているが、継続にまでは至っていないようである。今後も定着に向けて工夫を重ねていく。

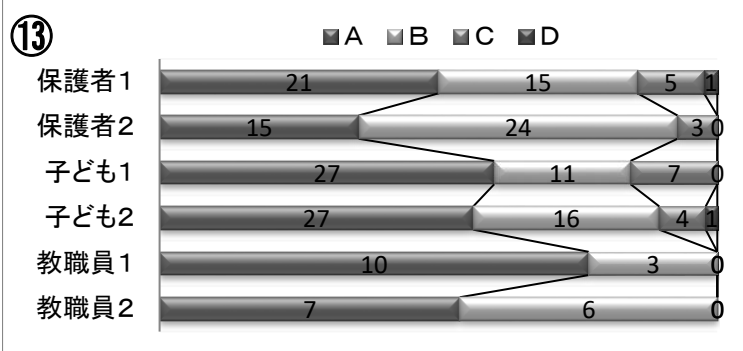
⑫桃山小は教育環境が整っている。



○年間を通してよい評価が得られた。施設面のメンテナンスが必要な部分は、引き続き、市に改善を働きかけていく。

→継続。限られた中ではあるが今後も市教委に働きかけていく。細かな補修については、その都度対応していく。

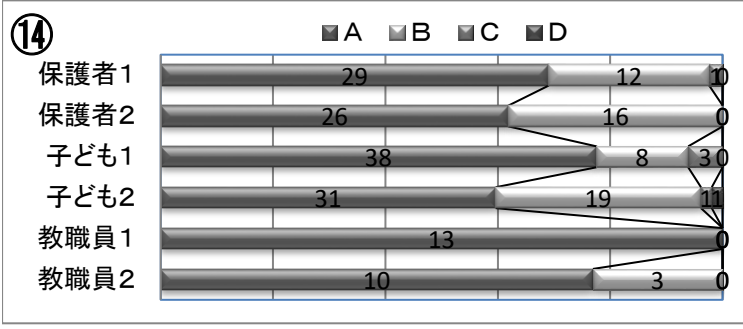
⑬桃山小は地域とともに教育活動を進めている。(子ども→地域とのかかわりを大切にしている。)



○年間を通して高い評価が得られた。キャリア教育を進める中で、地域の人・こと・ものとのかかわりを大切にしてきた成果と考える。

→継続。保護者・地域の皆様の日頃のご協力に感謝するとともに、今後も、地域教材の発掘と協力体制づくりに努めていく。

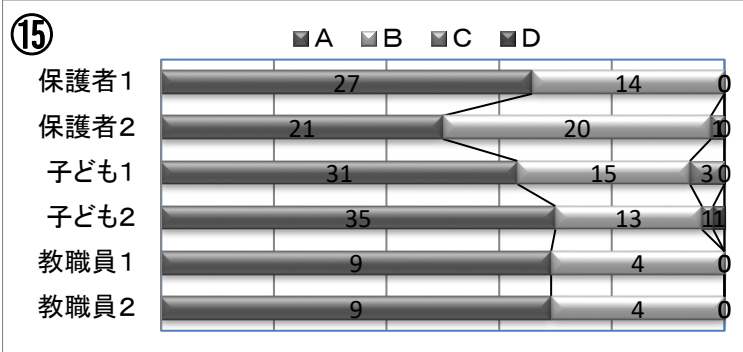
⑭桃山小の職員の対応は親切で気持ちがよい。(子ども→親切でやさしい。)



○年間を通して高い評価が得られた。

→継続。今後も保護者・地域の声を大切にし、家庭や地域と連携・協力していく。児童理解を深める上で大切な部分であるだけに、これからも常に意識して努めていく。

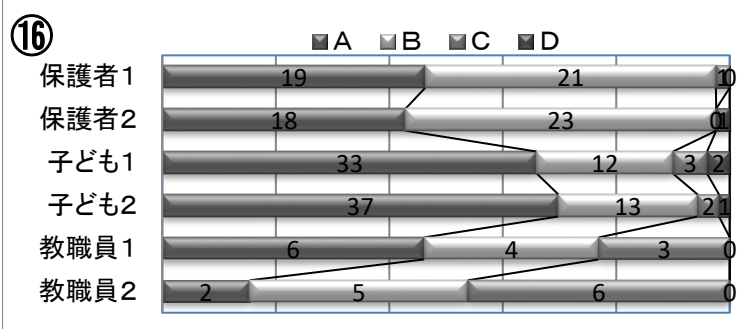
⑮桃山小の学校だよりや学年だよりは充実している。(子ども→お家の人はおたよりを必ず読む。)



○年間を通して高い評価が得られた。

→継続。学校からの発信を受け止めていただけていることに感謝申し上げますとともに、今後もおたより類の充実と精選に努める。また、メールの活用やホームページの積極的な発信も続けていく。

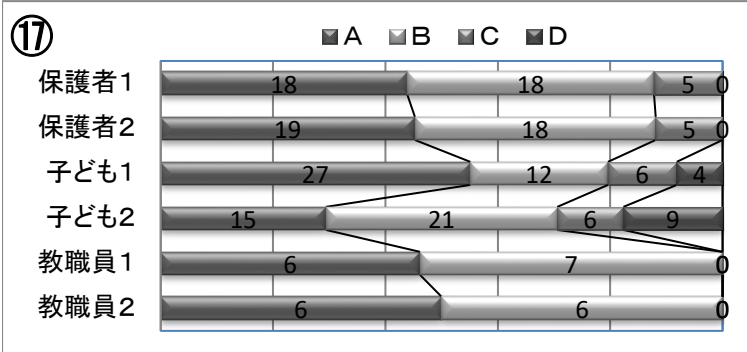
⑯桃山小の学校行事は時期や内容が適切である。



○年間を通してよい評価が得られた。できる限り工夫して設定したい。

→感染症対応などで制限も多い中、よい評価をいただいたことに感謝。保護者・地域の皆様の温かいご支援やご協力があって成り立っていることに感謝している。感染症対策は今後も続くと思われるが、「子ども」を中心に、「できる行事を精一杯」実施していけるよう努める。

⑰「桃山小学校は…」と自慢したくなるときがある。



○年間を通して比較的よい評価が得られた。本校の教育活動等について理解を示していただいていると考える。

→継続。子どもも大人も、達成感や充実感を実感できるよう、自身の学びや成長を自覚できるような働きかけをしていく。

★ ノーゲーム日の取り組みについて(左:第1回 右:第2回)

	意識して		ときどき		あまり		ゲームなし・しない		不明	
保護者	13	13	13	10	16	19	2	1	0	0
子ども	21	18	15	18	6	13	1	1	0	0
教職員	5	5	6	4	0	0				

★ 桃山小ホームページの利用について(左:第1回 右:第2回)

	よく見ている		ときどき		あまり		不明	
保護者	1	0	19	18	17	24	0	0
教職員	1	1	13	9	7	2		

【記述でいただいたご意見をまとめました】

- コロナの影響もあるが、体育的活動が充実するとよい。
- ノーゲーム日については、各家庭で取り組むのがよい。
- ノーゲーム日についての意識はもっているように感じる。
- ゲームに熱中しすぎることがある。
- ユーチューブやゲームをする時間が長い。
- 夢先生は子どもたちが具体的な夢に触れる機会として継続してほしい。
- 笑顔であいさつできる学校であることが自慢できる学校につながるのだと思う。
- 運動会など、子どもや保護者、職員など、生き生きとした姿を見て、やはり桃小はいいなと感じた。
- 校舎の老朽化が気になる。
- 安心して学習や様々な活動に取り組めるよう、友達と関わり、桃小が楽しかったと子どもたちに思ってもらいたい。

★今回の学校診断評価では、第1回と同様「よい」とする評価を多くいただきました。感染症の状況により、制限のある中での教育活動ではありますが、桃山小が大切にしている取り組み、これまで積み重ねてきた教育活動に対して評価をいただけたことに感謝いたします。本校の教育活動は、保護者・地域の方々に支えられていることをあらためて実感いたします。今後も、子どもたちや保護者の皆様に、より一層充実した教育を提供できるよう、引き続き努力していきたいと思っております。

★前期と後期を比較しての検証を行いました。項目にもより違いもありますが、AB評価(よい・どちらかというといよい)を8割近くいただけている一方で、数値は低いですがCD評価(どちらかというとい悪い・悪い)もいただいています。よりよい評価となるよう、「子どもを丁寧に見とること」「保護者や地域の皆様と連携を深めること」をキーワードに、引き続き取り組んでいきたいと思っております。

★記述していただいた内容についてまとめました。お礼や励まし、また、それぞれのお立場から、本校の教育活動に対する熱心なご意見をいただきました。皆様のご意見をこれからの大切にし、小規模校のよさを生かしながら、教職員一同これからも桃っ子のためにがんばっていきます。

※学校評価のまとめについてご意見等ありましたら、教頭:佐藤(81-9134)までご連絡ください。

